

都道府県知事・市区町村長・教育長への
子どものマスク、黙食等に関する

公開質問状 集計結果報告書



全国有志子どもを思う会×こどもえがおプラットフォーム
合同プロジェクト

【全国有志子どもを思う会】

子ども達の声聞きその声を伝えていく
そんな子どもを思う母や父だけではなく大人が全国で集まっている会です。現在全国に約400名です。
なぜ子どもの声を集めるのか。必要なのか。子どもが何を望みどうしたいのか。隠された本音。伝えられなくなった本心。そこに耳を傾けあくまで私たちは子どもの代理として。伝えていきたいと思っています。
そして子ども達が自由に健やかに成長出来る環境にしていきたいと考えています。



【こどもえがおプラットフォーム】

こどもコロナプラットフォームに賛同するこどもの健やかな成長を願う保護者が中心となり、2022年5月5日に立ち上げました。
子ども達に対するコロナ感染症対策の見直しを求め、全国の同じ思いを持つ方々を繋ぐプラットフォームを作る活動をしています。
そして全国で請願書や陳情書、要望書を提出する動きが広がっています。
こども達の「今」を大切にできるやさしい社会の実現を目指しています。



コロナが始まって2年半
子どもの心の声、
届いていますか？

子ども 1500 人の悲痛な声を届けます。



回答者データ

コロナ禍における子どもの実態を調査するため、子ども向けアンケートを実施し、回答結果を都道府県知事・教育長、市区町村長・教育長宛てに約1800通お届けしました。見ていただいた感想とコロナ禍における子どもの状況をおききするために、首長・教育長に質問状を同封し送付しました。その結果、209件の自治体及び教育委員会から回答をいただきました。アンケート実施期間は令和4年7月25日（発送）から8月31日です。

首長及び教育長の合計回答数 209件

（都道府県の回答数7件、市区町村の回答数202件）

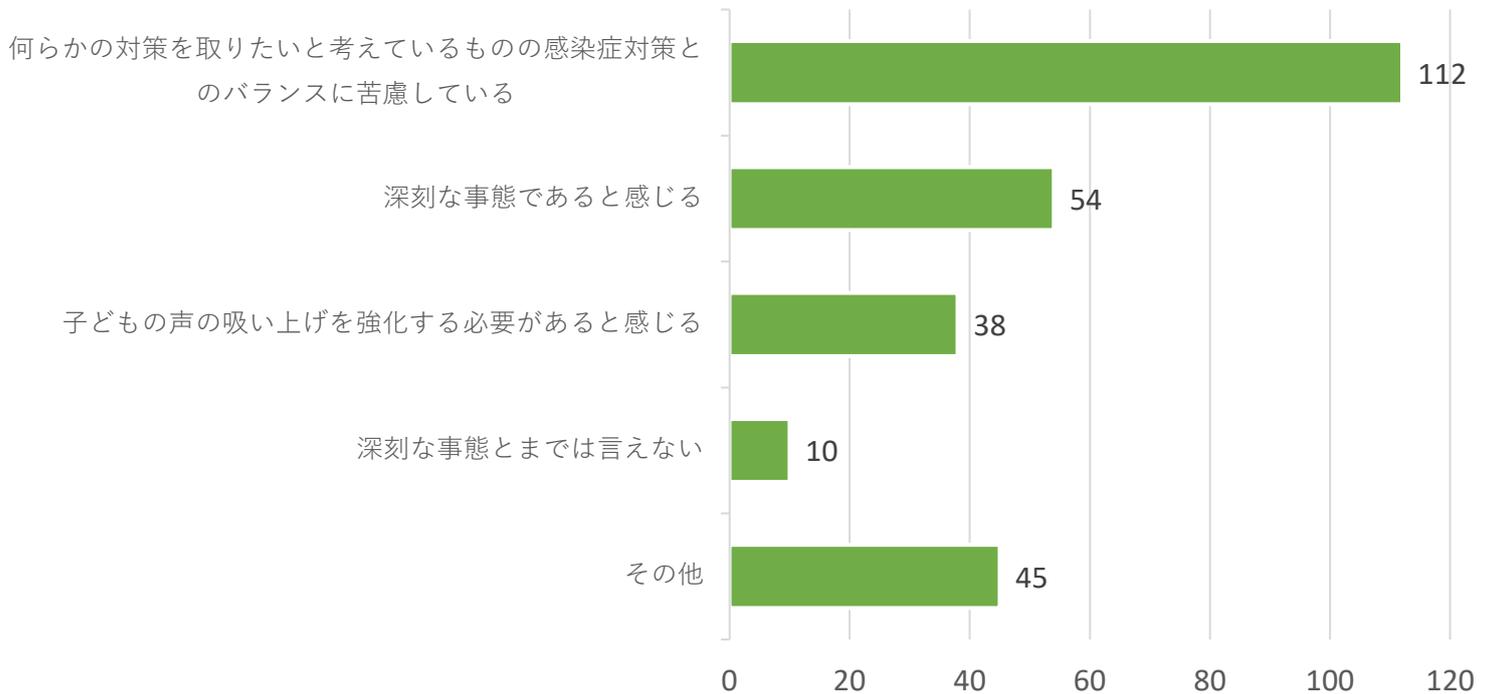
※担当部署名での回答も含む

※質問状の内容については、巻末に掲載

【回答団体（回答のまま掲載）】 ご協力いただいた自治体の皆様に深く感謝申し上げます。有り難うございました。

岡山県勝田郡勝央町教育委員会教育長、岡山県勝田郡勝央町教育振興部、串本町教育委員会、長野県諏訪郡富士見町教育委員会、富士見町、（鳥取県西伯郡）南部町教育委員会事務局総務・学校教育課、鳥取県八頭郡若桜町、熊本県人吉市教育委員会、山梨県北杜市教育委員会、東京都大島町（総務課）、長野県南箕輪村教育委員会、長野県南箕輪村子育て支援課、兵庫県赤穂市、兵庫県赤穂市教育委員会、山梨県北杜市、高知県東洋町、愛知県海部郡飛島村役場民生部福祉課、茨城県かすみがうら市秘書広報課、茨城県古河市子ども福祉課、宮崎県こども政策課、宮城県大崎市教育委員会、香川県善通寺市、東かがわ市、高知県土佐清水市、三重県亀山市、滋賀県栗東市教育委員会、神奈川県大磯町教育委員会、神奈川県福祉子どもみらい局子どもみらい部私学振興課、北海道留萌郡小平町（管理課）、北海道利尻郡利尻富士町福祉課、北海道紋別郡雄武町教育委員会、北海道川上郡弟子屈町教育委員会管理課、北海道教育係、北海道樺戸郡月形町教育長、大阪府泉南市、大阪府泉南市、長野県北佐久郡立科町、長野県北佐久郡立科町、香川県小豆郡土庄町健康福祉課、香川県小豆郡土庄町教育委員会、長野県小谷村、長野県小谷村、茨城県小美玉市、北海道足寄町、大阪府貝塚市、三重県朝日町首長、三重県朝日町教育委員会、愛知県蒲郡市秘書広報課、愛知県蒲郡市学校教育課、熊本県球磨郡あさぎり町、熊本県球磨郡あさぎり町教育委員会、神奈川県中郡大磯町、青森県北津軽郡鶴田町教育委員会、静岡県袋井市教育委員会、千葉県白井市教育委員会教育長、兵庫県淡路市企画情報部秘書広報課、兵庫県淡路市教育部学校教育課、栃木県塩谷郡塩谷町、福島県東白川郡棚倉町、福島県東白川郡棚倉町教育委員会、北海道虻田郡豊浦町教育委員会、北海道岩内郡岩内町岩内町教育委員会、和泉市教育委員会事務局学校教育室、和泉市新型コロナウイルス予防推進担当、大阪府泉佐野市教育委員会学校教育課、茨城県稲敷郡美浦村美浦村教育委員会、/茨城県稲敷郡美浦村美浦村総務部総務課、名古屋市教育委員会、茨城県神栖市教育長、茨城県神栖市長、茨城県大久慈郡大子町教育委員会、茨城県常陸大宮市教育委員会、静岡県伊豆市教育長、大阪府泉佐野市子育て支援課（公立こども園に聞き取り）、大阪府泉南郡岬町教育委員会、長野県川上村教育長、兵庫県姫路市教育委員会総務課、北海道小平郡古平町教育委員会、北海道秩父別町、鹿児島県伊佐市市長、鹿児島県伊佐市教育委員会、北海道真狩村市長、北海道真狩村教育委員会、滋賀県日野町、滋賀県日野町教育委員会、愛知県設楽町町長、愛知県設楽町教育委員会、北海道札幌市教育委員会、茨城県東海村、茨城県東海村教育委員会、北海道中札内村教育委員会、北海道広陵町町長、奈良県広陵町教育委員会、茨城県筑西市教育委員会、鹿児島県大崎町町長、鹿児島県大崎町教育委員会、福岡県吉野町こども家庭課、高知県大月町教育委員会、福岡県久山町教育委員会、高知県香南市市長、高知県香南市教育委員会、静岡県沼津市教育委員会、広島県大崎上島町町長、千葉県旭市教育委員会、長野県根羽村市長、長野県根羽村教育委員会、千葉県我孫子市秘書広報課、千葉県我孫子市教育委員会、岐阜県東白川村市長、岐阜県東白川村教育委員会、北海道平取町町長、北海道平取町教育委員会、長野県小川村教育委員会、青森県七戸町町長、青森県七戸町教育委員会、秋田県上小阿仁村企画班、秋田県上小阿仁村、茨城県古河市教育委員会、群馬県館林市教育委員会学校教育課、群馬県館林市子ども局子育て支援課、神奈川県平塚市健康課、神奈川県平塚市教育指導課、静岡県伊豆市、長崎県雲仙市学校教育課、長崎県雲仙市健康福祉部、兵庫県丹波篠山市企画総務部秘書課、山梨県都留市、北海道虻田郡豊浦町町長、北海道岩内郡岩内町、佐賀県神埼市、佐賀県神埼市、千葉県東金市（秘書広報課）、千葉県東金市（学校教育課）、茨城県常陸大宮市、北海道名寄市、兵庫県丹波市、兵庫県丹波市教育委員会、香川県教育委員会事務局、香川県、群馬県教育委員会事務局、群馬県秘書課、私学子育て支援課、感染症がん疾病対策課、川口市（学校保健課・③⑧のみ指導課）、長崎県福祉保健部こども未来課、大阪府泉大津市健康こども部こども育成課、大阪府泉大津市教育委員会、愛知県豊明市市長、群馬県前橋市子育て支援課・子育て施設課、群馬県前橋市教育委員会、福岡県久留米市首長、福岡県久留米市教育委員会、名張市役所（保育幼稚園室）、茨城県守谷市、長崎県教育庁高校教育課、名張市教育委員会（教育総務室）、神奈川県湖南市、茨城県石岡市教育委員会、高知県安芸市、川棚町教育委員会、教育長、埼玉県さいたま市教育委員会、天草市、埼玉県さいたま市、天草市教育委員会、藤枝市、茨城県守谷市（教育委員会）、山形県舟形町、藤枝市教育政策課、埼玉県朝霞市教育委員会、山形県舟形町教育委員会、長野県大鹿村、茨城県潮来市秘書課、長野県大鹿村教育委員会、北海道中札内村首長、野洲市健康福祉部こども課、岩手県釜石市保健福祉部子ども課、長野県辰野町、野洲市教育委員会事務局学校教育課、北海道ニセコ町首長、愛媛県東温市（総務課）、大阪府箕面市、愛媛県東温市（学校教育課）、北海道ニセコ町教育委員会、山形県米沢市（教育委員会）、箕面市、滋賀県湖南市教育委員会、八街市、沖縄県名護市首長、八街市、鹿児島県枕崎市（市長前田祝成）、沖縄県名護市教育委員会、鹿児島県枕崎市教育委員会、滋賀県米原市くらし支援部こども未来局保育幼稚園課、滋賀県米原町健康推進課、滋賀県米原市教育委員会事務局学校教育課、鹿児島県長島町福祉事務所、滋賀県米原町教育委員会、鹿児島県長島町教育委員会、香川県、新潟県上越市教育委員会学校教育課、横浜市教育委員会事務局、静岡県磐田市こども幼幼稚園課保育園課、浜松市こども家庭部幼児教育・保育課、千葉県船橋市教育委員会学校教育部、船橋市市長公室市民の声を聞く課、大阪府島本町、東京都昭島市学校教育部指導課、東京都足立区教育委員会学校運営部、栃木県さくら市総合政策課、栃木県壬生町教育委員会事務局学校教育課、東京都八王子市子ども家庭部子どものしあわせ課、福岡県大牟田市保健福祉部子ども未来室こども育成課

こどもたちの声を聞き、どのようにお感じになりましたか？



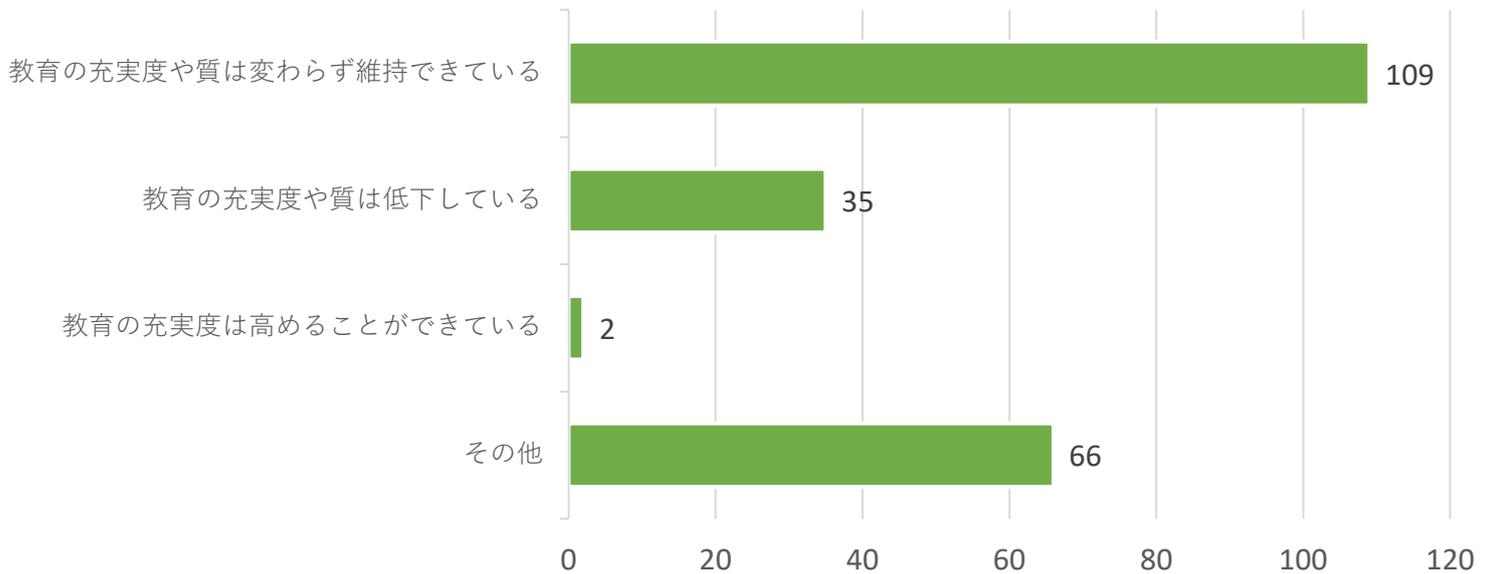
- 子ども達への教育上の対策と感染症対策のバランスに苦慮している自治体が54%
- コロナ禍における子ども達の状況を深刻と感じる自治体が26%

その他の回答からも、各自治体が子ども達の環境を出来る限り良くしようと努力してくださっていることがわかります。

①の「その他」記述回答

子ども達の声の吸い上げる仕組みがない。/マスクは不要な場面を改めて伝える必要があると感じる。/参考にさせていただきたい。/マスクをつけていて不満や嫌だなどと思う声だけを紹介していると感じた。/このような声はすでに届いており、心配しています。/現在の感染状況を鑑み、マスク等については現状を維持せざるを得ないと考える。/学校への大きな子どもたちの期待に応えていきたい。/多様な思いがあると感じた。/感染症対策は法令や国等の通知を踏まえ適切に対応したいと考えている。/管内の学校とも連携を図り、対処していきたい/管内の学校とも連携を図り、対処していきたい/日本全体で大変な思いをしている子どもも多いと思われ、子どもたちの心を支えることに全力を尽くさなければならないと感じる/感染対策は専門家の意見を参考にして対応しているが、地域の感染状況と子どもの状況に基づき保護者の意見を踏まえ、それぞれの地教委が判断すれば良い/今回の質問内容だけでは判断できません。/今回の質問内容だけでは判断は難しい。/市としてまとまった考えがありませんので、回答を控えさせていただきます。/市としてまとまった考えはありませんので、回答を控えさせていただきます。/新型コロナウイルス感染症による社会状況は日々変化していることから、引き続き状況を見極めながら、感染症対策と子どもたちの健やかな学びの保障の両立を目指して適切に対応していく必要があると感じた。/新型コロナウイルス感染症による社会状況は日々変化していることから、引き続き状況を見極めながら、感染症対策と子どもたちの健やかな学びの保障の両立を目指して適切に対応していく必要があると感じた。1日でも早くマスクを外すことができる日がきたら良いと感じる/1日でも早くマスクを外して安心して学校生活を過ごせる日が来たら良いと感じる/状況を確認し、国からの通知を踏まえ、適切に対応する,状況を確認し、国からの通知を踏まえ、適切に対応する/新しい生活様式の中で感染症対策に取り組み、学校教育活動を継続している。※指導1課、高校教育課、健康教育課,設問、回答等が一面的であり回答できない。/設問、回答等が一面的でありコメントできない。/引き続き国、府の新型コロナウイルス感染症対策マニュアルに基づき適切に対応していく/今後も子ども達の様子を見ながら丁寧に対応していきたい/今後とも本市の児童生徒の状況把握につとめ、適切に対応する/今後も子ども達の様子を見ながら丁寧に対応していきたい/今後とも本市の児童生徒の状況把握につとめ、適切に対応する/熱中症予防等場面に応じた対応ができるよう声かけが必要である/新型コロナウイルス感染症による社会状況は日々変化していることから、引き続き状況を見極めながら、感染症対策と子どもたちの健やかな学びの保障の両立を目指して適切に対応していく必要があると感じた。/新型コロナの影響の大きさ、受け止め方は多様であると考えます。教育委員会としては、国の新型コロナウイルス感染症対策の方針に基づき対応していきます。/新型コロナウイルス感染症の対応が落ち着き、コロナ前の生活に戻れたらと思います/すでに把握している内容であった。

学校園における子どもへの教育環境はコロナ前と比べ、コロナの影響によって変化はありますか？



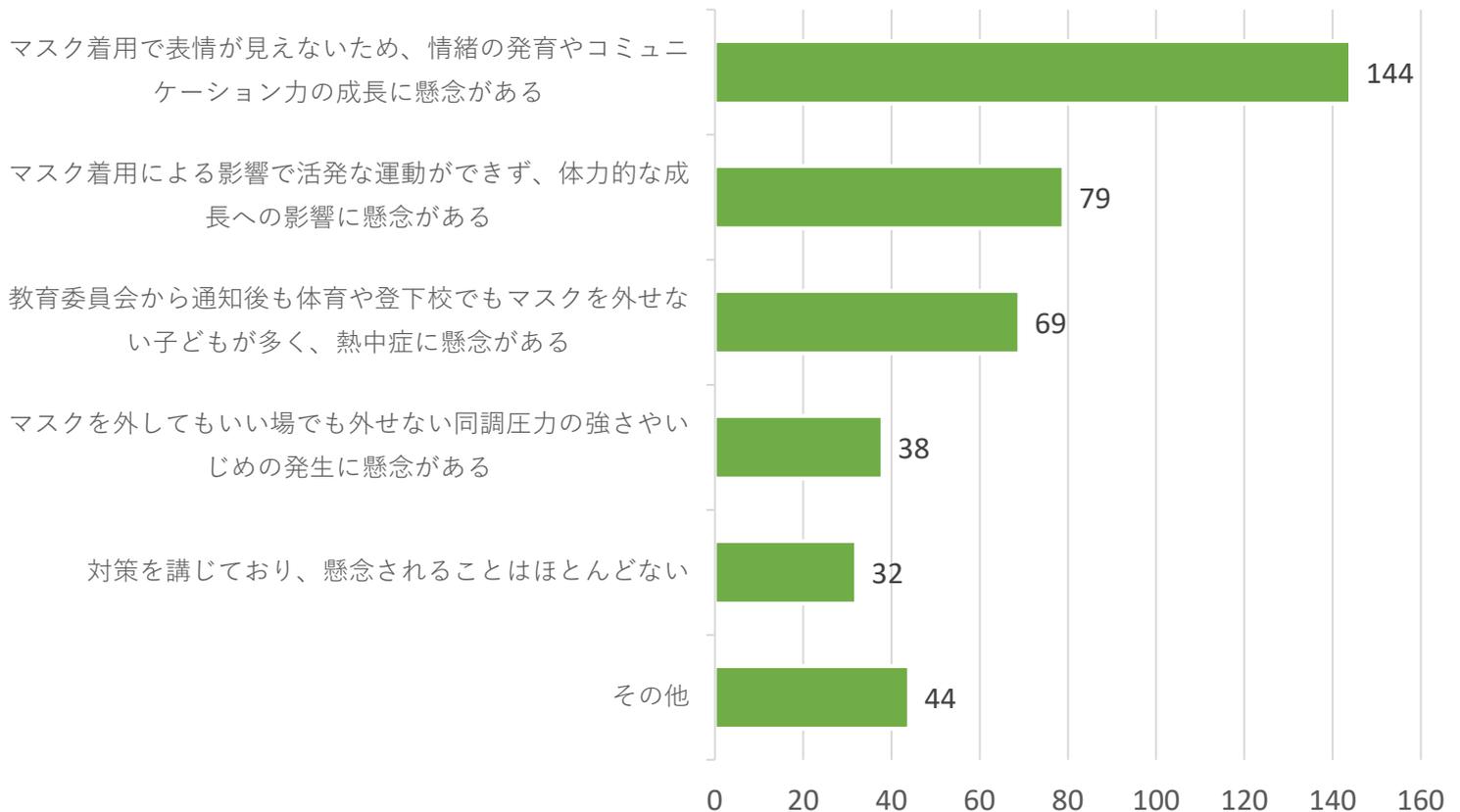
- 半数の自治体が教育状況を維持しているが、低下している自治体も17%存在する
- コロナ禍の2年半では、教育の充実は難しく、やや低下傾向があり、かろうじて維持されている状況

その他の回答から、変化に対応すべくICTの活用など工夫をし、低下しないように努めている自治体が多い。しかしながら、変化に対応する難しさや子どもへの影響を心配する状況がある。

②の「その他」記述回答

当町は小規模校であり、そのためコロナ禍においても、児童生徒一人ひとり教師の眼が行き届いており教育の充実度等変化もかると考えている。/教育環境自体はコロナの影響によって変化があったが、それが質の変化には影響なかったと考えている/教育環境自体はコロナの影響によって変化はあったがそれが質の変化には影響がなかったと考えている/教育の充実度や質を評価する基準がなく回答できない。/オンライン授業などで対応するなどして変化している。/コロナの影響はあるが、質は変わってない。/分からない。/それぞれの私立学校の状況を把握してないので、回答できない。/ICT導入、オンライン活用等向上してるところもあるが、蜜を防ぐという観点によりペア等小集団での話し合い活動に制限がある点は低下が懸念される。/低下しているという報告は教育委員会からなし。/一概に言えない。/「低下」という言葉ではありませんが、変化はあります。/音楽科などの特定の教科や行事開催に制限が生じている。/感染状況等を踏まえたなかで、児童生徒等への負担が軽減できるように対応しています。/感染状況等を踏まえたなかで、児童生徒等への負担が軽減できるように対応している。/変化はあると思うが、低下していることも高まったこともある。/GIGAスクール構想が進んだ。/多岐にわたる方策により、質が低下しないよう努めている。/コロナによってできなくなったことは多いが、知恵を出し工夫してより良くなったことも少なくない。/変化はあるが、一概に低下・維持という判断はしにくい。コロナ禍でもできる保育を考え、維持しようとしている。/これから以後が心配である。/学習面では工夫されているが、コミュニケーション面の影響が心配/コロナの影響により一人一台端末等の効果的な活用等が進み、質が高まった部分と、授業の進め方の変化によりコミュニケーションを高める教育活動を十分に出来ず懸念している部分がある/明確なエビデンスがないのでなんとも言えない/明確なエビデンスがないため何とも言えない/ICTの機器整備や活用等について、新型コロナウイルスの感染拡大に対応した国の政策を活用する事で従前を大きく上回るペースで進めることができた側面もある。/把握できていない/できるだけ低下しないように工夫して取り組んでいる。/ICTの活用が進みました。/ICTの活用が進みました。/音楽科や特定の教科や行事開催に制限が生じている。/学校園での活動の制限が今後どんな影響するか心配。/活動の自粛が心配である。/地域や学校の実情に応じて代替措置を講じるなど適切に対応し、教育の充実度や質を保つよう努めている。/県及び市町の教育委員会において、地域や学校の実情に応じて代替措置を講じるなど適切に対応し、教育の充実度や質を保つよう努めている。/現在もコロナ禍あり、コロナの影響は不明である。/コロナ禍のため、制限されている面もあるが、GIGA端末の活用を含め、工夫をして、教育の質が低下しないよう行っている/コロナの影響はあっていると思われるが、充実度や質についての低下又は向上等といったことは確認されていない/できなくなった活動もあり、低下した面もあるが、目的を見直す機会にもつながっている。/できなくなった活動もあり、低下した面もあるが、目的を見直す機会にもつながっている。/教育の充実度や質を高めるように努めている/教育の充実度や質を高めるように努めている。/内容による、オンライン授業など学習環境のICT化は加速したが、集団活動や校外学習の制限など、子どもたちの活動等への影響が一定程度出ている。/教育内容や方法等に変更はあるが、質を高めることができるよう工夫している/感染症対策を徹底するとともに、タブレット等のICT機器を効果的に活用して、教育活動を継続している。また、行事等についても、実施形態や内容を工夫して、安心・安全に実施している。/新しい生活様式における教育活動を充実させるべく、様々な取組を推進している。/教育委員会にて回答。/新しい生活様式における教育活動を充実させるべく、様々な取組を推進している。/オンライン授業など学習環境のICT化は加速したが、集団活動や校外学習の制限など、子どもたちの活動等への影響が一定程度出ている。/体験活動は制限が生じているが、ICT関係は向上した、感染拡大を防ぐ意味で、活動内容によっては制限をかけているものもある。特に異年齢交流など密が懸念される活動は行事等も含め学年ごとの実施に変更している。そのため活動のモデルや年長児へのあこがれなどが育ちにくい。園外保育等も行き先変更や現地での活動方法により目的が変わることがある。表情の読み取りがしにくい。/感染症対策を講じる必要が生じ、感染者数の状況によっては必要な対応が求められる/感染症対策の為に活動が制限され、活動充実度の低下はあるが、ICTの急速な整備により、充実度が増した活動もある。コロナ前と教育環境が全く違うため比較が難しい。/教育委員会においては活動の中止、縮小があるものの他方でict活用等充実したのものもあるとの報告がある/新型コロナ感染症の影響から、中止や縮小により充実度や満足度が低下した行事や活動もありますが、ICT活用など高まった教育実践もあります。今後でもできる限りの感染症対策を講じて、充実した教育活動が展開できるよう各学校と連携を密にして取り組んでいきます。/県及び市町の教育委員会において、地域や学校の実情に応じて代替措置を講じるなど適切に対応し、教育の充実度や質を保つよう努めている。/ご質問の教育（保育）の充実度や質について、新型コロナウイルスの感染拡大する前後における影響については、一概に比較できないものと考えており、お答えすることはできません。/市教育委員会では、令和2年度から、手洗いの励行、マスクの着用や換気の実施、各教科活動の状況に応じた感染症対策等、各校において、いわゆる「3密」を避けるなどしながら、児童生徒が安心して学校生活が送れるよう取り組んでいます。各学校の行事についても、市教育委員会として一律禁止にするのではなく、実施に当たっての感染症対策の留意事項を示し、各学校で工夫して取り組んでいます。本市主催行事として例年実施している、市立小学校を対象とした芸術鑑賞や体育的行事についても、感染症対策をとりながら令和2年度・令和3年度も実施しました。「まん延防止等重点措置期間」、「緊急事態宣言期間」の間においては、神奈川県からの要請等に基づき、県をまたぐ移動や泊をとまなう行事を中止又は延期とするなど、感染リスクの高い活動を避けながら、学校教育活動を継続しました。そのほか、いじめの懸念については、「コロナいじめ」に限らず、偏見や差別等が起きた場合には、子供の心に寄り添った丁寧な指導を行い、その解消に努めています。個別の指導だけでなく、機会を見て全体指導を行ったり、道徳の授業で扱ったりするなど、差別や偏見に苦しむ子供がいないように感度を高くして見守っています。/教育環境の変化は否めないが、所管の市立園では、活動や行事について様々な見直しを図り、保育の質の担保に努めています/学校の教育環境は教育委員会所管部分のため、市長部局として回答いたしません。/コロナ対策では教育委員会と情報を共有し、連携を図っています。/感染症対策のために、保育活動の行事などの一部を制限することはあるが、保育現場では充実度や質の維持に努めている。

2年半に及ぶコロナの影響で子ども達にどのようなことが懸念されると考えますか？



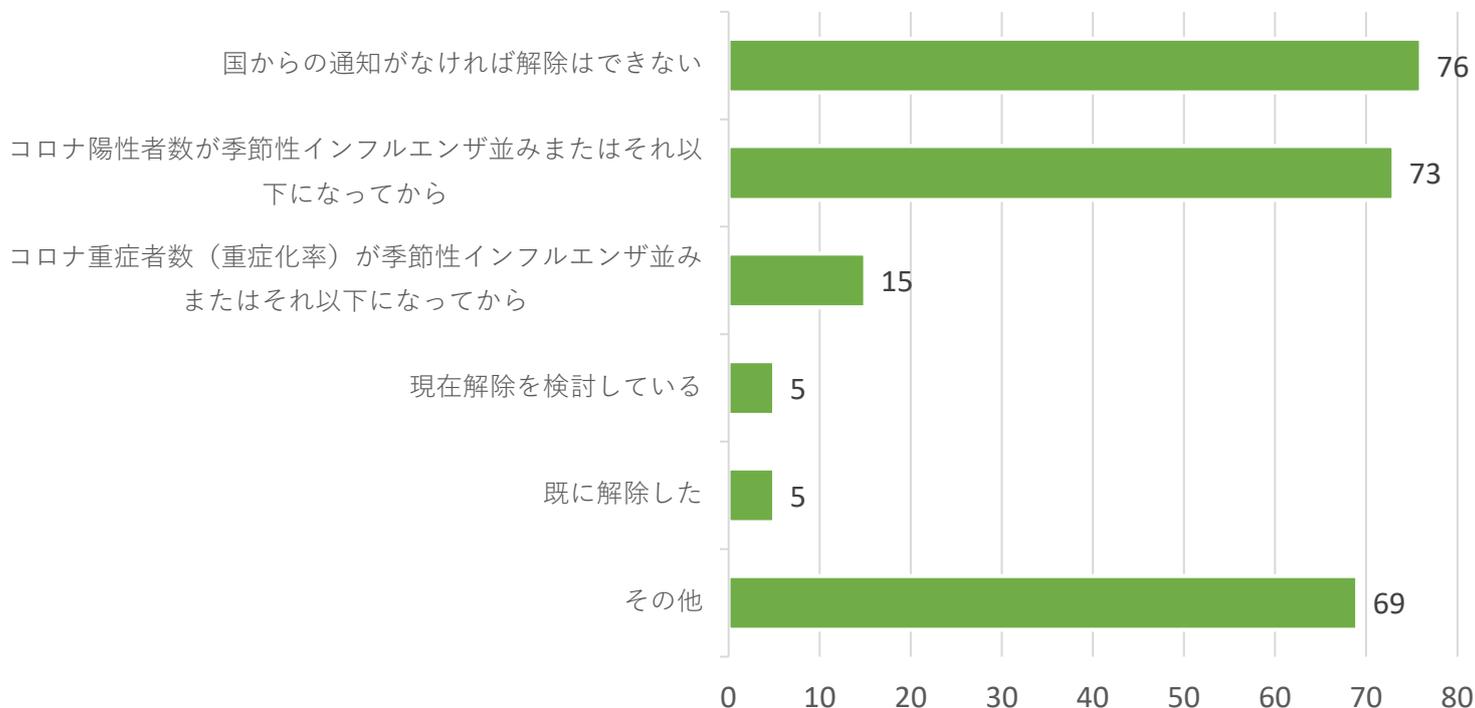
- マスクで表情が見えないことで、コミュニケーション力の成長に懸念する自治体が69%もある
- マスクによる体力的な成長への影響に懸念がある自治体は38%
- 熱中症の懸念は33%
- 同調圧力やいじめ等の懸念は18%

子どもの心身への様々な影響が心配されます。対策とケアを早急に行う必要があると考えられます。

③の「その他」記述回答

保育園では児童にマスク着用をさせていない為上項の趣旨に当てはまるものではありません/子ども達の発達等については所管部局でないため回答できない。/放課後等、運動する機会が少なくなり、体力的な成長への影響に懸念がある。/マスクを外せない子どもへの対応が懸念される/感染状況等を踏まえたなかで、児童生徒等への負担が軽減できるように対応しています。/感染状況等を踏まえたなかで、児童生徒等への負担が軽減できるように対応している。/個人差はあると思うが、心身の発達に様々な影響があると考えられる。/各校で感染対策をしつつ、様々な教育活動の工夫をしているところであり、教育委員会として懸念されることについて公式な見解はない。/活動、研修の制限の中、様々な体験の縮小により、経験による成長への影響に懸念がある、新型コロナウイルスの感染、流行によって、体調不良をかかえたり、心が不安定になったりすることが心配されるため、一人一人の心と体のケアを進めることが大切である/市として具体的なデータがないため回答は控えさせていただきます。/市として具体的なデータがないため、回答は控えさせていただきます。/子どもたちの学習や心身への影響が懸念される中で、感染症対策と子どもたちの健やかな学びの保障の両立を目指した取組みが進められていると考えている。/人とのふれあい、接触を伴う活動が制限され、生活体験の機会が減少していることを懸念している。/諸行事が中止や縮小となり、学校園での思い出作りもコロナ禍前とは違ったものとなっている/新型コロナウイルス感染症の影響については状況を確認しながら慎重に見極める必要がある。/マスクによる非言語コミュニケーションの課題や、熱中症のリスク等様々な影響を懸念する声があることは承知している。学校では、感染症対策と子どもの健やかな学びの両立に取り組んでいるところである。※健康教育課/子供達への影響は、マスクだけでなく、様々な要因がもともとなっているので、個々の実態に応じた丁寧な対応を継続して行っていく。/判断できる基準は持ち合わせておりません。/市教育委員会では、令和2年度から、手洗いの励行、マスクの着用や換気の実施、各教科活動の状況に応じた感染症対策等、各校において、いわゆる「3密」を避けるなどしながら、児童生徒が安心して学校生活を送れるよう取り組んでいます。各学校の行事についても、市教育委員会として一律禁止にするのではなく、実施に当たっての感染症対策の留意事項を示し、各学校で工夫して取り組んでいます。本市主催行事として例年実施している、市立小学校を対象とした芸術鑑賞や体育的行事についても、感染症対策をとりながら令和2年度・令和3年度も実施しました。「まん延防止等重点措置期間」、「緊急事態宣言期間」の間においては、神奈川県からの要請等に基づき、県をまたぐ移動や泊をとまなう行事を中止又は延期とするなど、感染リスクの高い活動を避けながら、学校教育活動を継続しました。そのほか、いじめの懸念については、「コロナいじめ」に限らず、偏見や差別等が起きた場合には、子供の心に寄り添った丁寧な指導を行い、その解消に努めています。個別の指導だけでなく、機会を見て全体指導を行ったり、道徳の授業で扱ったりするなど、差別や偏見に苦しむ子供がいないように感度を高くして見守っています。/様々な懸念が報じられていることを承知していますが、国レベルでの検証と検証結果に応じた対応策が講じられるべきと考えます。/学校の教育環境は教育委員会所管部分のため、市長部局として回答いたしません。コロナ対策では教育委員会と情報を共有し、連携を図っています。/子どもたちへのコロナの影響については、引き続き注視していく。/本市では、客観的データを収集していないので何とも言えない。

大人は会食制限が解除されても、学校給食の黙食は継続されていますが、いつ頃の解除が適切と考えますか？



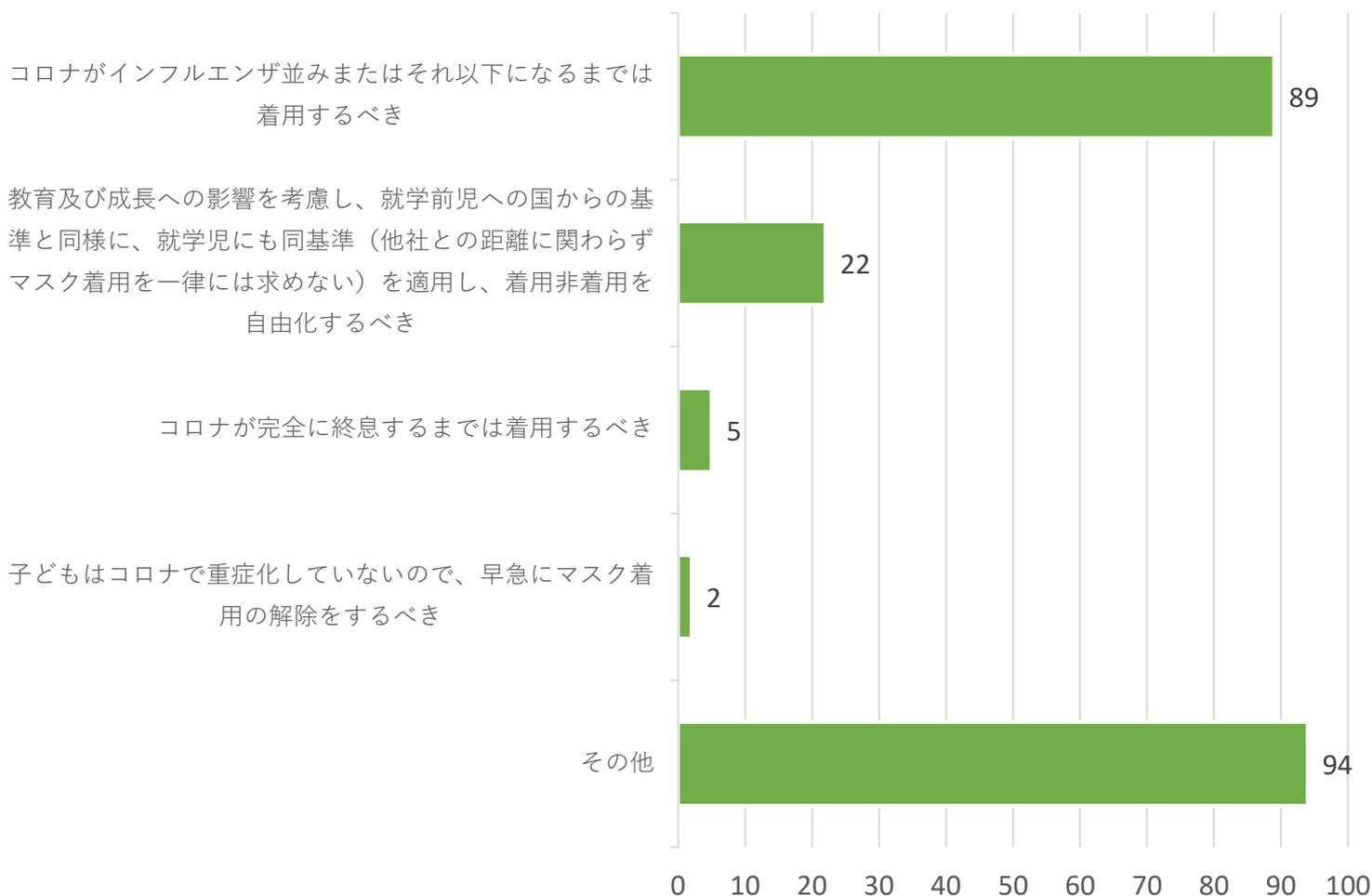
- 黙食の解除はインフルエンザ並みまたはそれ以下という基準で考える自治体が35%と多い反面、国からの通知がなければできないと考える自治体が36%で、国の判断が期待されます。
- 5自治体（2%）が既に黙食を解除し、さらに5自治体（2%）が解除を検討しています。

子ども達は自治体や教育委員会の判断を待ち、各自治体は国の判断を待っている状況となっています。現在では、コロナの重症化率および死亡率がインフルエンザ以下に下がっており、子ども達のために早期のご判断を期待します。

④の「その他」記述回答

感染状況、県立校や近隣市町の動向を見ながら判断したい。/ 県の方針等をふまえ、市の感染対策状況等や活動内容、場所、発達段階等から総合的に判断していく必要がある。/ 国及び県の通知に基づき適切に対応するものとする。/ 教育委員会との協議による。/ 学校長の判断、大人の行動と同一にすべき。/ 何らかの対策を取りたいと考えているものの、感染対策とのバランスに苦慮している。/ 何らかの対策を取りたいと考えているものの、感染対策とのバランスに苦慮している。/ 「解除」の要件を検討中。なお、大人の会食と学校給食は同じではないと考えます。/ 国または府が示す基準やマニュアル等に基づき対応いたします。/ 国または府が示す基準やマニュアル等に従い対応いただきたい。/ 国・大阪府からの通知等を参考に市として判断する。/ 国の通知では学校給食は感染リスクが高い活動とされているため、国等の通知を踏まえて適切に対応したいと考えている/ 茨城県により、会食場面での対策が解除になってから。/ 基本的に国は県の通知に基づく/ 町長委員会と調整する/ 県教育委員会や学校と調整検討する/ 基本は国の通知であると思うが、なんらかの対応ができていくものか考えたい/ 文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」に基づき、本県や本市の感染状況を踏まえて適切に判断していきたい/ 学校の規模に応じた対策を検討することが必要/ 教室や学校規模にも応じて、さまざまな感染防止対策とあわせた柔軟な対応になっていくのではないかと考える。/ 専門家の知見により国がその必要性の有無を適切に判断した上で、全国に周知した段階が望ましい。/ それぞれの地域の状況により、専門家の意見を参考に地教委が判断すれば良い/ 国や県の動向を見据え、判断して参ります。/ 国や県の動向を見て判断して参ります。/ 園児については黙食が難しいとされており、強制されていない。/ 新型コロナウイルス感染症による社会状況は日々変化していることから、文部科学省の衛生管理マニュアル等に沿って、状況を見極めながら適切に対応していきたいと考えている。/ 新型コロナウイルス感染症による社会状況は日々変化していることから、県及び市町の教育委員会において、文部科学省の衛生管理マニュアル等に沿って、状況を見極めながら適切に対応していくことが望ましい。/ 専門家の意見を受けての判断が必要と考える。/ 基本的には国・県からの通知に沿っての解除が適切と考える。/ 濃厚接触者の定義がある為、給食時間隔をあけることや、黙食を強いられているので「感染症法上2類相当」の取り扱いが変わった時と考えます。/ 国や県から統一して見解が示されているため、学校や家庭で適正に判断し、対応すべきと考える、国からの通知を踏まえ、適切に対応する/ 国からの通知を踏まえ、適切に対応する/ 科学(医学)的根拠に基く、国や県の通知を受けてから。すぐにでも解除させてあげたいが、感染の不安がある中では、解除できない、文部科学省や、厚生労働省の見解・通知を踏まえ、また、地域の感染状況や各学校の様々な状況を踏まえ、適切に判断していくべきと考える。※健康教育課/ 国や県の通知、知見をもとに判断を行う。、教育委員会にて回答。、国や県の通知、知見をもとに判断を行う。/ コミュニケーション不足も懸念され自由にさせたいが感染症対策とのバランスに苦慮している/ 感染症法上、5類相当になること/ 学校の規模や学校の状況、教室空間のスペース工夫ができる場合は黙食しなくてよいとしている。/ 感染状況による。/ 文科省のマニュアルを参考に判断する/ 感染症類5類相当に引き下げると同時に早急に実施すべき/ 文科省のマニュアルを参考に判断する/ 国や県の動向と子ども達の状況を踏まえて検討を進めたいと考えています。/ 新型コロナウイルス感染症による社会状況は日々変化していることから、県及び市町の教育委員会において、文部科学省の衛生管理マニュアル等に沿って、状況を見極めながら適切に対応していくことが望ましい。/ 学校での給食を食べる際の制限の解除の時期については、現時点ではお答えできません。/ 感染状況や感染法上の位置付けの見直し状況などを踏まえて検討してまいります。/ 園では黙食の強制はしておりません。/ 所管の市立園では、黙食が必須ということではなく、幼児期の発達段階を踏まえて会話を控えることを指導するとともに、向かい合わせで食べられないような配置の工夫やパーテーションの活用など環境の工夫をしています。/ 学校の教育環境は教育委員会所管部分のため、市長部局として回答いたしませんが、コロナ対策では教育委員会と情報を共有し、連携を図っています。/ 保育施設・幼稚園等での給食時の対応は、各施設において判断しております。/ 本市の感染状況を鑑みると、まだ解除はできないと考える。

学校及び教室内におけるマスク着用についてお考えをお聞かせください。



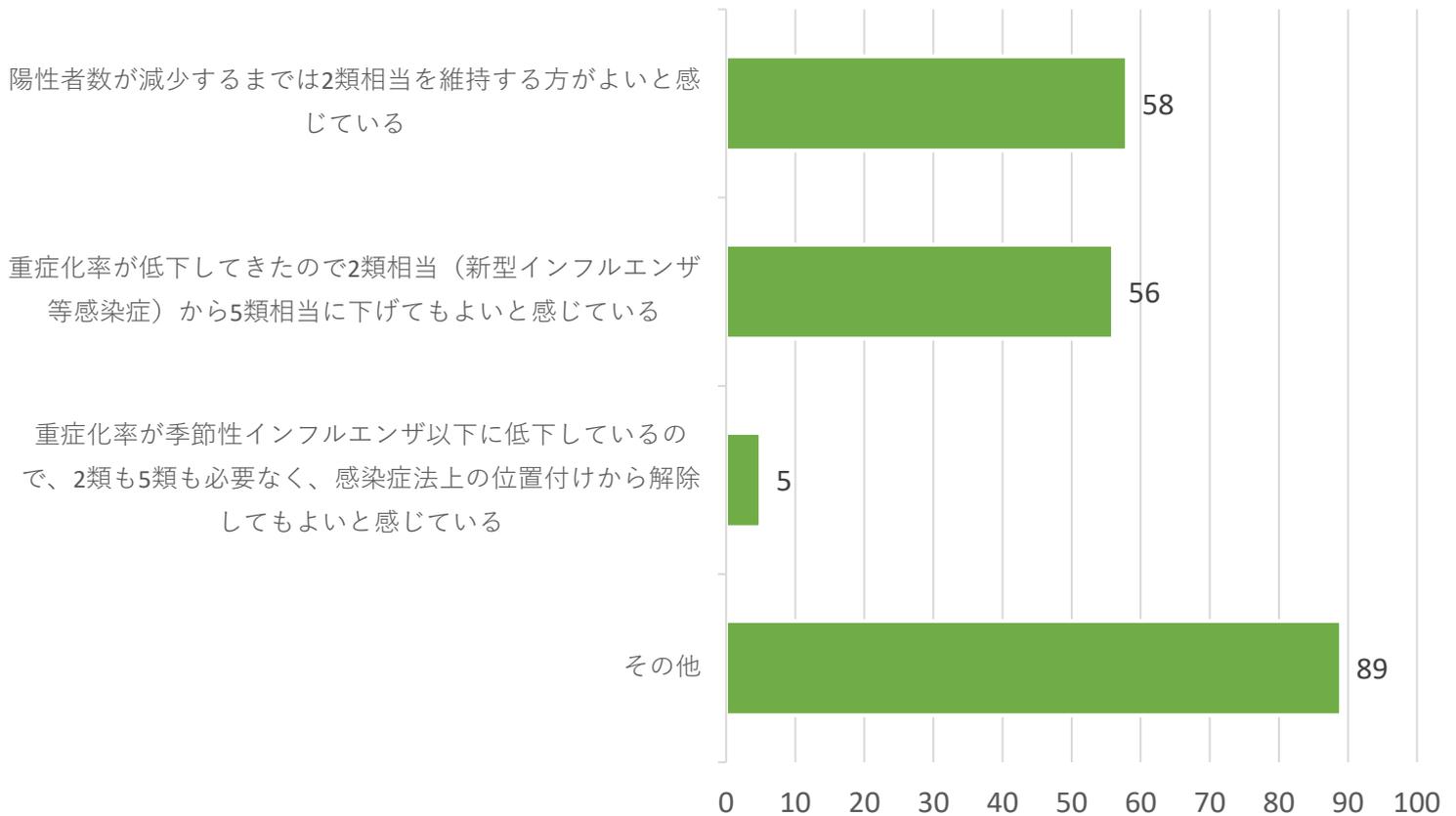
- ・ マスクの着用はインフルエンザを基準としている自治体が43%
- ・ 就学前児の基準に引き下げることを期待する自治体が11%あります。
- ・ 子どもは重症化していないため、早急にマスク着用を解除すべきとする自治体も2件あります。

その他の回答から、マスクについても国の判断を待つ自治体が多数であることがわかります。海外の多くの国がマスクを外している状況から、子ども達への心身への影響への懸念があることも踏まえて、早期に子どもに対するマスク解除の判断を期待します。

⑤の「その他」記述回答

県の方針等をふまえ、市の感染状況や活動内容、場所等から総合的に判断すべきものと考えている。/ 一般的な治療薬が市中に出回れば解除しても良いのではないかと/ 保育園では児童に原則マスク着用をさせていません。/ マスク着用の有効性等についてもはっきりとわからないため、重症化しにくいという側面だけでなく様々な側面から検討するべきと考える/ 学校については教育委員会の所管事務であり回答できない。/ 市教育委員会との協議による。/ 国判断。/ 身体的距離が十分とれない時はマスクを直用すべきだが、臨機応変に対応するようにしている。/ 感染状況を踏まえ、国の動向等を参考にしながら、判断する。/ 国からの通知による/ 国のマスク着用の考え方及び就学前時の取り扱いに準じている/ 国のマスク着用の考え方により適切な取り扱いを周知/ 国、府の判断通知に準ずる。ただ熱中症を防ぐため必要に応じて着脱することは必要である。/ マスク着用については、原則お願いであり、強制ではない。ただ感染対策として、医師会とも相談しながら、着用をお願いしているのが現状である。/ 子供たちと保護者の意見を聞く。/ 活動内容や場に応じて適切にマスクの着脱ができるように子どもたちにも考えさせたい。/ 国からの通知を踏まえ適切に対応する。/ 国、県、近隣の状況を鑑み、検討していきます。/ 国または府が示す基準やマニュアル等に基づき対応いたします。/ 国または府が示す基準やマニュアル等に従い対応いただきたい。/ 基本的な感染対策として、場面に依りて着用する。不要な場面では外すよう指導する。/ 国はマスクを基本的な感染対策としているため、国等の通知を踏まえ適切に対応したいと考えている。/ 感染状況に応じて判断する。/ 基本的に国は県の通知に基づく/ 国や道から着用解除の通知が正式に来るまでは着用すべき/ 感染状況を踏まえ、感染が心配される場面では文科省衛生管理マニュアルに基づき、マスク着用を行っていくが、マスク着用については本人の意思や健康上の理由等について十分考慮し強制する事はしない/ 国等からの通知、町内等の感染状況等により判断したい/ 国等からの通知、町内等の感染状況等により判断したい/ ④と同様に学級規模、活動内容により適切な判断をするのが望ましいと思われる/ 新たな変異株の出現による急速な感染拡大が認められ、今後も同様の繰り返しが見込まれる状況かなおいては、国の発出するマスク着用についての考え方を踏まえつつ、熱中症予防・感染拡大防止のそれぞれの必要性を比較衡量の上、屋内で会話するときにはマスク着用を続ける等、感染拡大防止と熱中症その他のリスク対策の両立を図っていく必要がある。/ 専門家の意見を参考にそれぞれの地教委が判断すれば良い/ その時の状況に合わせ、着脱する, コロナ対策用の一般的な飲み菓が開発され市販化されるまで, 活動等その時々による判断/ 国や県の判断によります。/ 国や県の判断による。/ 国の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生マニュアル」に基づき、市ガイドラインでは集団的距離が十分とれない場合はマスクを着用する。なお着用については、学校教育活動の態様や児童生徒の様子、熱中症予防の観点を踏まえ臨機応変に対応すると示しております。/ 国の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」に基づき市ガイドラインでは身体的距離が十分とれない時はマスクを着用する。なお着用については、学校教育活動の態様や児童生徒の様子、熱中症予防の観点等を踏まえ、臨機応変に対応しております。/ 保育所等についてはマスク着用は必須ではなく、年齢や活動場所で着用が異なる。/ 国や県の方針を踏まえて判断する。/ 国からの通知により判断します。/ 国からの通知によって判断したい。/ 新型コロナウイルス感染症による社会状況は日々変化していることから、文部科学省の衛生管理マニュアル等に沿って、状況を見極めながら適切に対応していきたいと考えている。/ 新型コロナウイルス感染症による社会状況は日々変化していることから、県及び市町の教育委員会において、文部科学省の衛生管理マニュアル等に沿って、状況を見極めながら適切に対応していくことが望ましい。/ 専門家の意見を受けての判断が必要と考える。/ 基本的には国・県からの通知に沿っての着用が適切と考える。/ 方に基づき国が方針を定めるべき/ 専門家による審議を踏まえ、国が判断すべき事項であるとする/ 国からの通知を踏まえ、適切に対応する, 国からの通知を踏まえ、適切に対応する/ 新型コロナウイルス感染症感染が生命に関わることを踏まえると、治療薬が承認されるなど、医療的見地から国がマスク着用解除を指示するまでは、原則着用すべきと考える。/ 国の通知に基づき、対応を行う/ 文部科学省や、厚生労働省の見解・通知を踏まえ、また、地域の感染状況や各学校の様々な状況を踏まえ、適切に判断していくべきと考える。※健康教育課/ 国や県の通知、知見をもとに判断を行う。/ ガイドラインに基づいて運用/ 新型コロナウイルス感染症感染が生命に関わることを踏まえると、治療薬が承認されるなど、医療的見地から国がマスク着用解除を指示するまでは、原則着用すべきと考える。/ ガイドラインに基づいて運用/ 国や道から着用解除の通知が正式に来るまでは着用すべき/ 表情から気持ちを読み取ることが出来ず先生も苦勞されていることと思う。先生と子供、子供同志のコミュニケーション不足も心配される/ 具体的なエビデンスを示して欲しい。解除に向けた/ 国、府からのマスク着用に関する通知・方針に基づき適切に対応する/ 感染状況により判断する必要がある。/ 文科省のマニュアル通り/ 感染症類5類相当に早急に引き下げると同時にマスク着用についても、個人の判断とすべき/ 文科省のマニュアルの通り/ 熱中症予防等場面に依りて対応ができるよう声かけが必要である/ 教育委員会としての回答は差し控えさせていただきます。/ 新型コロナウイルス感染症による社会状況は日々変化していることから、県及び市町の教育委員会において、文部科学省の衛生管理マニュアル等に沿って、状況を見極めながら適切に対応していくことが望ましい。/ 国からの基準のとおり対応しています。/ 児童生徒の特性や健康上の理由等により、マスクを着用できない児童生徒と、様々な基礎疾患(持病)など重症化リスクを持ち、より慎重な感染対策が必要な児童生徒が、共に学校生活を送る学校現場の状況を考慮する必要があるため、新型コロナウイルス感染防止対策として、マスク着用を基本としています。ただし、熱中症等の健康被害が発生する可能性が高い場合に、マスクを外すよう指導しています。マスクを外した際は、十分な身体的距離を保つ等、感染対策にも配慮をしつつ、熱中症が命に関わる危険があることを踏まえ、熱中症への対応を優先しています。/ 園では原則不要。/ 現在本市では、県の方針に基づき、就学前の子供のマスク着用は原則不要としています。/ 学校の教育環境は教育委員会所管部分のため、市長部局として回答いたしません、教育委員会と情報を共有し、コロナ対策の連携を図っています。/ 大阪府教育庁作成「学校園における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」に基づいて対応すべき/ 国や都のマニュアルに沿って対応する。/ 現に夏休みでマスクを外す場面が多くなり感染が拡大したと思われる。熱中症の危険もあるため、外での活動や体育では基本的にマスクを外している。徐々に緩和できればと考える。/ 保育施設・幼稚園等でのマスクの着用については、他者との距離にかかわらず、マスク着用を一律には求めていません。/ 本市の現在の感染状況を鑑みると、マスク着用の全面解除はできないと考える。

感染症法上の取扱いについて、お考えをお聞かせください。



- 2類相当維持と5類相当への引下げが拮抗している。
- 2類でも5類でもなく、感染症法上の位置付けからの解除の考えが5自治体もあります。

その他の回答からも、現状維持と緩和が拮抗しており、移行期にあると考えられます。子ども達を第一に考えた判断を期待します。

⑥の「その他」記述回答

今後どのような変異株が発生するか不明。教育活動維持のため早急な解除はできない。/一般的な治療薬が市中に出回れば5類相当に下げても良いかと思う。/回答時点で感染者が急増しているため回答が困難です/法律に関する事項は国が検討するものであり、1自治体としての意見はできない。/専門家の意見を元に、国として判断すべき。/非常に難しい判断なので国に準ずる。/現在の感染状況等をふまえ、国において感染症法上の取り扱いについて、しっかりと見直しの方向性を示していただく必要があると考えている。/分からない。/感染状況を踏まえ、国の動向等を参考にしながら、判断する。/国の判断による,国の対処方針に準ずる/国の対処方針に準ずる/国の判断、通達に準ずる/国等の指示による/市としての意見は難しい。国や県の判断を元に医師会と判断しながら市として適切に判断をしていきたい。/教育委員会としての意見は難しい。国や県の判断を元に、医師会と相談しながら教育委員会として適切な判断をしていきたい。/コロナ治療薬がインフルエンザ同様に使用できるようになれば、5類相当に下げてもよいと思っている。/国が適切に判断していただきたい。/専門家に判断していただきたいと思います。/第7派が拡大している現状では判断しづらい。/感染症法の取扱いについては、本市独自で対応できることではないことから、回答は控えさせていただきます。/感染症法の取扱いについては、本市独自で対応できることではないことから、回答は控えさせていただきます。/国が適切に判断すべき。/法令や国等の通知を踏まえ適切に対応したいと考えている/保健所、医療機関の負担軽減につながるよう、2類と5類の間を取った対応を進める。/感染対応は5類相当にしても、高額治療が負担にならないような対応が必要である。/緩和するとしても当面の対策は必要/教育行政として、文部科学省、厚生労働省、県教育委員会の見解と指示に従っていく/国からの基準に準じて対応する/専門家の根拠に基づいた判断を参考に検討,専門的知識によらず希望を言うのではなく、専門家の科学的根拠に基づいた判断に従っていく必要があると考える。/感染症の種類の決定については、陽性者の数や重症化率だけで決まるのではなく、様々な事項を総合的に勘案して決定されるべきものと認識しており、教育委員会としては判断する立場にはない/専門家の判断を重視/政府の見解、県の指導に準ずる/専門家の研究、考察、分析に任せるべき/国や県の判断によります。/国や県の判断による。/重症化率が低下してきた状況を踏まえると2類相当から変更する方向とし、第5類相当にこだわることなく、現状を踏まえた新たな分類の創設等も検討してよいのではと感じている。/重症化率が低下してきた状況を踏まえると2類相当から変更する方向とし第5類相当にこだわることなく、現状を踏まえた新たな分類の創設等も検討してよいのではと感じている。/国において判断する内容と考える。/感染後遺症のことも考えて判断が必要。/感染の症状だけでなく後遺症が心配なので判断が難しい。/県教育委員会では、コメントできる質問でないと考えている/感染症法上の現行の分類にとらわれず、感染拡大防止の観点や、医療費や就業制限など感染者の負担、全数把握など医療機関・保健所の負担といった様々な観点から、どのような対応が一番適切か検討し、判断されるべきものとする/感染症法上の取扱いについて検討するための知見がない。/感染症法上の取扱いは、国や医療部門でしっかり検討していただくべきものであり回答不可/インフルエンザと同様に飲み薬（一般）で対処できるようになれば5類にすべき/専門家による審議を踏まえ、国が判断すべき事項である/国からの通知を踏まえ、適切に対応する/国からの通知を踏まえ、適切に対応する/国に準じる/感染症法上の取扱いを論じることのできる立場ではないため、判断できない。治療薬承認後に国が判断すべき。/教育委員会として意見するものではないため、回答は控えます/病原体等管理規制における対象病原体の分類については、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づくものとなり、国の対応方針に従うものと考えている。※健康教育課/国や県の判断を待つ。/病原体等管理規制における対象病原体の分類については、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づくものとなり、国の対応方針に従うものと考えている。/国や県の判断を待つ。/国が指定すべきもの,感染症法上の取扱いを論じることのできる立場ではないため、判断できない。治療薬承認後に国が判断すべき。/国が指定すべきものである/国の動向に基づき対応,感染症法上の取扱いの判断は難しいと考える。/新たな類を設立し対応すべき/国、府からの通知に基づき適切に対応する,今後も様々な感染症が出てくるのが予想されるため類の見直し検討が必要/国、府からの通知に基づき適切に対応する,有識者の意見や考えに委ねる/判断する立場にない/有識者の意見や考えに委ねる/判断する立場にない/教育委員会としての回答は差し控えさせていただきます。/感染症法上の現行の分類にとらわれず、感染拡大防止の観点や、医療費や就業制限など感染者の負担、全数把握など医療機関・保健所の負担といった様々な観点から、どのような対応が一番適切か検討し、判断されるべきものとする/感染症法上の位置付け等については、政府において、感染症法の見直しに向けた検討を開始したと承知しています/専門的な知見のもった方々の考えに沿って、市の対応を考えていきます。/法的取扱いの見解を回答する立場にないと考えます。/市民が安全・安心に暮らすことができるよう、現在の状況下で市のできる新型コロナウイルス感染症対策を着実に実施することが責務と考える。/感染症法上の取扱いについては、全国知事会や政府分働会等から、国に対して見直しの要請や提言がなされている。感染状況等を踏まえた対応が必要であり、国において十分に検討する必要があると考える。/国や都の方針に沿って対応する/全数調査など取り扱いを変更すれば良いと。/感染者が増加している状態では、引き続き予防対策が必要であり、国の方針に準じていくことになる。/感染症法上の取扱いについては、国が判断することと考えます。

回答集計まとめ（記述式設問⑦）

コロナ禍において、子ども達への教育環境の充実や質を落とさないために実施している対策があれば教えてください。

本町においては非認知教育の育成に努めており、子供たちの積極的な発言を引き出す努力をしている。

子供達の気持ちに寄り添うよう配慮している。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、様々な感染症対策や、支援事業を行っている。

- ・ICT機器の充実・感染症対策の強化

- ・ICT機器の充実・感染症対策の強化

- ・タブレット等を活用した授業や学習(家庭)
- ・県の方針をふまえた教育活動

③その他の回答のとおりであり、特段対策は講じていないが、誹謗中傷はしないように指導している。

- ・ICT機器をつかい、調べ学習をより手軽に行うだけではなく、協働学習でも汎用している(発表の際の資料提示やグループ学習の際の意見交換など)

- ・学校における運動会や音楽会等の行事についても、感染症対策を行った上で、やり方等を工夫して代替行事を実施している

1人1台の使用しているタブレット端末を積極的活用。

ICTの活用の充実。

市の独自事業としてコロナの長期化による影響に加え、物価高騰により受ける影響から子育て世帯の生活を支援するための給付金事業を行った。18歳までの児童一人当たり一律5万円。

密をさけた環境で行事実施。オンラインの活用。

ICT環境の整備と運用。

GIGAスクール構想の推進。

感染予防の対策の一つとして、自動水栓化を実施した。一人一台のタブレットを積極的に活用し個別学習を増やししながらICT教育の充実に努めている。

新型コロナ陽性者のタブレット持ち帰り等による授業実施。

子どもたちの学習等機会確保のため、イベント行事等は実施方法を検討する等し、可能な限り実施できるように取り組んでいる

オンライン学習の充実

ICTを効果的に活用した授業の充実

- ・オンラインを活用した授業
- ・子どもたちの意見が拾えるようなアプリの活用
- ・子どもの教育相談の充実

これまで、児童生徒の安全な学校生活の維持のために、消毒作業員の配置やフェイスシールドの配布などを行ってきた。今後も教育委員会と相談しながら必要な対応を行っていききたい。

学校生活ガイドラインを設計。感染状況に合わせて学校生活や学習活動に基準を設定し、児童生徒の安全を第一に、できるだけ教育環境の充実や質の維持を図っている。

特別な対策は行っていない。基本的な感染対策の徹底を町内小中学校にお願いしている。

○校外学習（体験活動等）を分散で実施。○運動会、学習発表会を学年ごとに実施。（保護者はオンライン配信）○儀式的行事の人数制限をしながらの実施（参加しない学年は教室や集会室でオンライン視聴・保護者にはオンライン配信）○気温が高くない日はグラウンドで体育的活動をできるだけ行う。○必要な時に使用できるよう、保健室に抗原検査キットを常備。定期的なアンケートや教育相談で子どもたちの悩みを把握し、SCと共にチームで心のケアに努めている。

記述式設問⑦つづき (2)

コロナ禍において、子ども達への教育環境の充実や質を落とさないために実施している対策があれば教えてください。

○確かな学力の推進。

・リーディングスキルテスト導入・ICT支援員の配置・AIドリルの導入。

○共生教育の実現。

・いじめ、不登校対策の充実・医療的ケア児支援・外国人児童生徒初期支援

○持続可能な教育環境整備

・照明LED化・バリアフリー化の推進・日本一の学校給食事業推進

小学校一年から三年生に（四年生から中学校三年生までは市独自に配布済み）GIGAスクールの国庫補助金を活用してタブレット端末を一人に一台配布。

手洗い場の自動化による感染対策。

空調設備の整備。

・ICTの活用による学びの充実

・空調設備を整え、快適な学習環境を提供

・教職員への市独自の研修体制の構築

多少重いなどの不便さはあるが、毎日タブレットを持ち運びすることで、仮に陽性者になってしまった場合でも、自宅で授業を受けられる環境に配慮させている。

一人一台端末の早期実現やコロナ禍における学びを保障するため、学校の臨時休業等における学校の端末の持ち帰り等環境整備を図り遠隔学習を実施する体制を備えている。

ICTの活用。感染予防を徹底した授業、学校行事の実施。

国の財源を活用した感染症対策備品等の整備。

○大阪府教育庁作成の「学校園における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル（市町村立学校園版）」を参考に、学習活動や学校行事、学校生活における様々な場面（給食や休み時間、清掃時等）、部活動等において、感染症対策を継続しながら、子どもの学びを止めないように教育活動を実施しています。

○感染症の発生等による学校の臨時休業や出席停止等によりやむを得ず学校に登校できない場合でも、1人1台学習用端末などを活用しオンラインで授業を配信するなどの措置を講じています。

令和4年3月からは、市内の小児科を標榜する医療機関において5歳から11歳のワクチン接種を実施しており、接種を希望する方への接種環境を整備しているところでございます。その他基本的な感染予防対策の啓発とワクチン接種の対象となっている皆さまの接種促進に努めております。

教育委員会を中心に、学校との連携を強化している。

学習者用タブレット端末を活用して学習支援している。

・動画視聴や学習アプリを活用した、実技指導や校外学習に代わる学習

・意見共有ツールを活用した話し合い学習

・学習者用タブレットを活用した家庭学習

感染対策を講じ、できる限りの教育活動を実施している。

・各種の行事の見直しを図り、今までの通りではなく、新しいスタイルに置き換えていることにより、様々な教育活動の変革が出来ている。（新しい視点）

・オンライン学習の進歩が図られICTの効果的な活用。児童、生徒の学び舎考え方に工夫が見られてきた。

基本的な感染予防が負担感が少なくなるようサポートしていく。

・子どもたちにしっかり伝えたいことがある時はマスクを外して話すようにしている。

・戸外での活動や室内でも距離が取れる時は保育者もマスクを外している。

・給食中はパーテーションを置いて、会話できるよう対策をとっている。

・集団での活動を少人数にして回数を増やしている。（密を避ける）

→少人数にすることでメリットもある。（ひとりひとりの理解や意欲につながりやすい）

★コロナの感染対策を講じながら、コロナ以前に取り組んでいた内容にできるだけ近づけられるよう環境整備など大人ができることを工夫している（子どもたちの負担にならないように）

できるだけ行事等はコロナ前と同じようにやってほしいと学校にはお願いしてる。マスク着用についてもできるだけ外すことを考えてほしい。それにはまず先生から外してほしいと言っている。

一人一台端末などのICT環境の充実。

現在夏休み期間であるが、今年の1学期までは特に支障なく学校での生活は行われていたと思う。対策としては、検温、マスクの着用、手指消毒徹底など基本的なことを実行する事としている

記述式設問⑦つづき (3)

コロナ禍において、子ども達への教育環境の充実や質を落とさないために実施している対策があれば教えてください。

教室内で大きい声で発しない活動のため、本来の教育活動である発表、質問、意見交流が制限される中、一人一台こノートパソコンの活用により、一人一人の考え、意見、回答を大型テレビ画面に映し出し、より多様な考えを知る事が出来ている

ICTの活用

感染症対策をしながらの協働的な学び

ICT教育の推進

感染を恐れて学校に登校できない児童生徒へのオンライン授業等の配慮

子どもたちが学校が楽しく、休まず登校し生き生きと学校生活を送る事ができるよう今後も継続して努めていく。そのために、「コロナ禍であるからできない」ということを極力減らすことができるよう、学習活動をはじめとする学校教育の在り方を絶えず見直し、工夫しながら進めていく

- 1.教育課程の完全実施等、安易に中止するのではなく、感染症対策と学びの補償を図っている
- 2.タブレット等の有効活用を図っている

- ・ 感染対策をしっかりとしながら、教育活動(特に子ども達の活動)については実行するように学校と共有している
- ・ 子ども達との面談等を充実させて、いきいきと活動できるように工夫している
- ・ コロナ感染についてははじめや不登校につながらないように特に配慮を促している
- ・ 国の施策を活用し導入した児童生徒1人1台端末及び教職員用端末、大型提示装置及びその運用のために整備した通信環境等を活用した、情報活用能力の育成のためのICT活用教育の推進と学級閉鎖時のオンライン学習による学びの継続、個別最適な学びのためのAIドリル導入
- ・ 国の施策を活用した、コロナ禍による価格高騰による子育て世帯の負担軽減を図るための給食費無償化(本年10月～3月)
- ・ 修学旅行や運動会等、児童生徒に将来にわたり節目の記憶として残る学校行事の実施方法や日程の再構築による可能な限りの実施
- ・ いじめや悩み等についてオンラインを通じて相談できるよう、教育委員会直通専用相談WEBサイトを開設するとともにそのサイトに繋がるアイコンを1人一台の端末の画面上に配置

様々な行事等、一律に中止するのではなく感染対策を十分にした上で、実施するようにしている。

- ・ 端末の家庭への持ち帰り学習
- ・ 公営塾を開校し、検定試験対策や受験対策を実践。

タブレットの導入などオンライン環境の整備

コロナ禍において、制限がある中での教育活動や学校活動を行う状況では少なからず充実度は低下しているが最小限にとどめるよう学校には指示し、行事等も出来る限り行って来ている。出席停止や学級閉鎖にはタブレット端末を活用し学校と児童生徒が繋がるようにしている。

- ・ 小規模の良さを最大限生かす
- ・ 本質を見失わず学習活動を展開する

特にコロナ禍だからという訳ではないが、子どもの数が少ないので従来通り目の届く配慮ある教育を実施している

タブレットの日常的な持ち帰りによる家庭学習(eライブラリ)及びオンラインによる格好と家庭の結びつきの強化。

修学旅行や運動会など人生の思い出となる行事について、実施要領を工夫して可能な限り実施するよう配慮。

緊急時におけるオンライン学習環境の整備。

タブレットの活用。
感染対策の徹底。

国の財源を活用した感染症対策備品等の整備。

空調設備の整備。

ICTの活用。

ICTの活用。

空調設備の整備の100% (同時に換気の徹底)

記述式設問⑦つづき (4)

コロナ禍において、子ども達への教育環境の充実や質を落とさないために実施している対策があれば教えてください。

- ・小中学校の全児童生徒が持っているタブレット端末の有効活用
- ・子ども達の心のケアを進めるためのスクールライフノートの活用
- ・教員と児童生徒との相談による学校行事等、教育活動の実行

生徒の健康・安全を第一に考え、国や県から出されたガイドラインなどに沿って教育活動を実施するよう、また、コロナ禍での学習保障についてはタブレット端末を活用した学習指導を行うなど、生徒とのコミュニケーションを図りながら学びを継続する取り組みを検討するよう、各県立学校や市町教育委員会に依頼しており、各学校の判断の下、それぞれの実情に応じた取り組みが進められている。

県教育委員会において、生徒の健康・安全を第一に考え、国や県から出されたガイドラインなどに沿って教育活動を実施するよう、またコロナ禍での学習保障についてはタブレット端末を活用した学習指導を行うなど、生徒とのコミュニケーションを図りながら学びを継続する取り組みを検討するよう、各県立学校や市町教育委員会に依頼しており、各学校の判断の下、それぞれの実情に応じた取り組みが進められている。

- ・ICTの活用
- ・心のケアのための教育相談体制の整備（スクールカウンセラーの活用、外部相談窓口の紹介）
- ・感染症対策を意識した学校医や学校薬剤師と連携した学習環境の整備

GIGA端末を用いたオンラインでの取組などにより、コロナ感染が増加している状況でも、「中止」ではなく実施するための工夫をして、可能なものは行っている。

新型コロナウイルス感染症対策の国庫補助金等のより、感染対策やICT化が図られている。また、コロナ禍により集合形式の研修からリモート型式への研修に移行するなど教員等の資質向上への対策を図っている。

- ・低濃度オゾン発生装置を購入し、各クラスに活用
- ・おもちゃ殺菌乾燥保管庫を購入し、各園所にて活用

休校時のICT機器を活用したオンライン学習

子どもたちひとりひとりの状況をより把握するため教職員、スクールソーシャルワーカー等の人材等の人材充実を図っている

児童生徒1人1台に配備しているコンピュータ端末を活用し教育環境の充実や質を高めるように取り組んでいる

新型コロナウイルスの感染拡大で、保育現場は緊張感の中で子どもたちと関わっています。換気、消毒、検温、食事や午睡の工夫、保護者への対応など今まで以上の仕事量と大変な思いをしながら保育をしています。さらに保育の質を落とすことなく、行事の見直しや工夫も必要となりました。

例えば、

- ・参観や行事が縮小され、保護者が保育所での子どもの成長を見る機会が少なくなりましたが、おたよりやドキュメンテーション等で子どもたちの様子を発信することで、その機会を確保しています。
- ・行事内容の見直し・時間短縮・参加人数の制限など、コロナ対策を取りながら実施しています。
- ・ふれあい活動や異年齢交流など仲間で過ごす機会が減った一方で、少人数のグループでの活動や、分散して遊べるような環境作りの工夫をしています。

- ・デジタル連絡帳や学校ポータルサイト開設など、オンラインを活用した学校と家庭のデジタル連携の実施
- ・一人1台タブレットによるオンライン学習環境の整備
- ・対面かオンラインかを選択できるハイブリッド授業の実施
- ・各教室への加湿器配置など、ハード面での対応
- ・密を回避した形での校外学習の実施（バス増便）
- ・PTAによる環境整備活動（校内草刈り）の外部委託の実施

- ・オンライン授業など一人一台端末の配布活用
- ・学校行事等内容を精選・工夫し感染症対策を講じて実施

一人一台タブレットの導入により、一般的なICTを利用した活用に加えて、教室内で密集などの理由から実施できなかった音楽や、マスク等のため控えていた体育などに、タブレットへの録音や動画撮影といった方法を取り入れながら、児童生徒のやる気を引き出す取り組みを図っています。

一人一台端末の活用を充実させ、オンライン授業（活用）を効果的に行なっている

コロナの感染予防のために、様々な教育活動や行動制限はあるものの、予算に限りのある小さな市町においては、国において空調設備の整備や学校のICT化等に予算措置がとられたので、その上においては、教育環境の充実や授業におけるICTの活用により、コロナ禍以前よりも良くなっていると思う。特に本町においては、タブレットや大型の電子黒板により授業改善を図っており、空調の効いた教室で学習することができている。

記述式設問⑦つづき (5)

コロナ禍において、子ども達への教育環境の充実や質を落とさないために実施している対策があれば教えてください。

「新型コロナウイルス感染症に対応したさいたま市学校教育活動実施マニュアル」の改訂による、児童生徒の心身の健康と学習保障の両立。

・市立学校における1人1台の情報端末や高速大容量のネットワーク環境の整備によるICT環境を積極的に活用した教育活動の推進。

・「『学校の新しい生活様式における新しい部活動の在り方』に関する方針」の作成による、生徒の健康・安全を第一に考えた短時間で効果的な部活動の実施。

※指導1課、高校教育課

・様々な環境に対して柔軟に対応できる力の育成
・ICTの活用

・様々な環境に対して柔軟に対応できる力の育成
・ICTの活用

学校支援員を配置

・デジタル連絡帳や学校ポータルサイト開設など、オンラインを活用した学校と家庭のデジタル連携の実施

・一人1台タブレットによるオンライン学習環境の整備

・対面かオンラインかを選択できるハイブリッド授業の実施

・各教室への加湿器配置など、ハード面での対応

・密を回避した形での校外学習の実施（バス増便）

・PTAによる環境整備活動（校内草刈り）の外部委託の実施

学校支援員を配置

・市内全児童生徒への一人一台タブレット端末貸与と高速大容量ネットワークの整備

・教育の情報化における適切なict活用についての指導、助言（学校訪問時）

・市内小中学校全校の共有サーバーの利活用の推進

GIGAスクールでの端末利用について、個別最適化の環境を工夫しながら、学力の低下にならないよう頑張っている。

ICTの充実

・ICTの推進

・人とのかかわりを体験的に学ぶ大事な時期なので、保護者の理解や協力を得ながら同学年、異年齢の保育共にできるだけ少人数の中でも交流できる保育を模索し、実施している。

・表情の読み取りや口の動きによる言語の獲得などこの時期に必要なコミュニケーション能力につながる大人の接し方を大事にするため、表現の仕方やフェイスシールド、写真カード等の工夫をしている。

・発達段階に合わせて、自信を持って言葉で思いを伝える力を育てることに今まで以上に努力している

ICT教育環境の充実

・学校行事等について、可否の判断ではなく、方法や実施時期などを模索、検討し、実施している。

・ICT環境を整えたことによる、教育環境の充実

・人権教育、保健教育を通して、自分で考え行動する力や他者の意見を尊重する力を育てるように努力している

・自分の考えや意見が出せる環境づくりに努めている

ICT機器を活用した教育活動の実施

体験活動や活動の機会が確保できるように感染症対策を行うとともに、活動の実施機関や実施内容を柔軟に変更できる準備を各学校でおこなっている。

ICT機器を活用した教育活動の実施

タブレットを活用してオンライン授業を実施したり、タブレットを自宅に持ち帰り課題に取り組ませたりしている。

非接触型体温計、過失空気清浄機、二酸化炭素濃度計測器、卓上パーテーション、消毒液の購入等、できる限り感染対策を行いながら、なるべく通常の保育・教育活動を行えるよう内容を工夫しながら取り組んでいます。

記述式設問⑦つづき (6)

コロナ禍において、子ども達への教育環境の充実や質を落とさないために実施している対策があれば教えてください。

感染拡大により内容の変更や規模の縮小などがあっても、これまで学校教育において核としてきた行事や活動はアイデアを出し合い工夫して取り組むように努めています。また、ICT機器を活用して授業の充実を図るとともに、やむを得ず出席できない子どもたちへのオンライン配信など、学習機会の確保に努めております。限られた時間で教育効果が上がる取組について研究し実践に努めています。

- ・一人一台タブレットの活用。
- ・行事の精選。

県教育委員会において、生徒の健康・安全を第一に考え、国や県から出されたガイドラインなどに沿って教育活動を実施するよう、またコロナ禍での学習保障についてはタブレット端末を活用した学習指導を行うなど、生徒とのコミュニケーションを図りながら学びを継続する取り組みを検討するよう、各県立学校や市町教育委員会に依頼しており、各学校の判断の下、それぞれの実情に応じた取り組みが進められている。

(感染症対策の一例)

- 密閉を回避するため、気候上可能な限り常時、困難な場合はこまめに、2方向の窓を同時に開ける換気に努める。
- 体育館やオープンスペースなどを利用して児童生徒同士の間隔をとる。
- 児童生徒が触れる部分を重点的に消毒する。

市教育委員会では、令和2年度から、手洗いの励行、マスクの着用や換気の実施、各教科活動の状況に応じた感染症対策等、各校において、いわゆる「3密」を避けるなどしながら、児童生徒が安心して学校生活が送れるよう取り組んでいます。各学校の行事についても、市教育委員会として一律禁止にするのではなく、実施に当たっての感染症対策の留意事項を示し、各学校で工夫して取り組んでいます。

本市主催行事として例年実施している、市立小学校を対象とした芸術鑑賞や体育的行事についても、感染症対策をとりながら令和2年度・令和3年度も実施しました。

「まん延防止等重点措置期間」、「緊急事態宣言期間」の間においては、県からの要請等に基づき、県をまたぐ移動や泊をとまなう行事を中止又は延期とするなど、感染リスクの高い活動を避けながら、学校教育活動を継続しました。

そのほか、いじめの懸念については、「コロナいじめ」に限らず、偏見や差別等が起きた場合には、子供の心に寄り添った丁寧な指導を行い、その解消に努めています。個別の指導だけでなく、機会を見て全体指導を行ったり、道徳の授業で扱ったりするなど、差別や偏見に苦しむ子供がいないように感度を高くして見守っています。

所管の市立園には、保育の質を担保するため、前例踏襲で実施してきた活動や行事について、目的を再確認するとともに、より子供の学びや育ちにつながる体験となるよう教育環境を見直し工夫するよう指示しています。

学校の教育環境は教育委員会所管部分のため、市長部局として回答いたしません。教育委員会と情報を共有し、コロナ対策の連携を図っています。

具体的な活動場面ごとの感染症予防対策を示し、感染状況を踏まえ、学習内容や活動内容を工夫しながら可能な限り、授業や部活動、各種行事等の教育活動を継続し、児童生徒の学びを保障していくこと。

オンラインを活用するなど活用内容を工夫し、可能な限り教育活動を継続すること。

- ・ICTを活用した教育活動の充実。
- ・学校行事や体験活動の精選。

児童の登下校時の熱中症防止と新型コロナウイルス感染防止のため、マスクをはずしての傘差し登下校を実施している。

回答集計まとめ（記述式設問⑧ー1）

最後にアンケート結果をご覧いただいたご感想があればお聞かせください。

いろいろな制約の中、子供たちには不自由な生活によるストレスを感じさせているが、子供達のため、地域と共にできることを実施している。

オミクロンの変異株による感染者（特に若年層）の急増している状況の中では、一律に判断しにくいと思っています。

・貴重な資料をご提供いただきありがとうございました。アンケート回答者数、発達段階、地域性との関連が大きく影響するため、本結果からの言及は少々難しさを感じたところです。

子どもや保護者の声に耳を傾けると共に、感染対策を踏まえ、学びを止めない、不安を取り除くよう努力したいと思います。感染者が複数人(1割程度)出ると、学級閉鎖等の措置を実施しなくてはなりません。マスクの着用は、子どもたちに負担をかけていることも理解しつつも、学級内での感染を広げない対策の一つであり、マスク着用を一切求めないということは、現段階では難しいと考えております。保護者には、子どもが基礎疾患を抱えている方もあり、集団生活におけるコロナ対策には、マスク着用を求める考えも現段階では多いと考えています。

子どもも大人も長期間に渡ってのマスク着用により、将来的に健康面、精神面への影響が懸念される。

多くの子供たちがコロナ前の生活を望んでいることがはっきりわかりました。

感染が不安でマスクを着用したいという子どももいます。信頼できる情報の元、お互いに認め合える行動ができるよう引き続き指導にあたりたいと思います。

子供たちの気持ちはその通りだと思う。コロナへ対策を常に検討していく必要があると思う。

早く、コロナ以前の生活に戻してあげたい。

マスク不要の生活に早く戻って欲しいお思いますが、学校・園でコロナが広がらないようにやむを得ない対応です。

コロナと共存する時代になり、子どもたちの教育環境を改めて考えなければならぬと思った。

アンケート結果を受け、今後の対策をしっかりと考えていきたい。

この会の調査費や運営費はどこからでているのでしょうか？

コロナ感染症についての説明や予防におけるマスク効果について、子どもたちへの説明が十分ではないのでは？と感じた。

マスク着用や黙食についての様々な意見を拝見し、子どもたちの日々感じている内面を知る貴重な機会であると感じた。現在のマスク着用や黙食の徹底により、インフルエンザ等の他の感染症が抑制されていることもあり、その効果は極めて大きいものであることから、今後においても引き続き取り組みの主旨を理解していただけるよう、子どもたち、その家庭に呼び掛けていきたい。

コロナ禍の中でも、各学校の授業がスムーズに行われるよう先生方に配慮した取り組みを願いたい。

思った以上に、子ども達の意欲低下や現状への不満があることを再認識し、この先で教育にかかわる人として、今の現状を少しでも改善していけるよう努力して参りたいと強く思いました。

コロナ禍における制限の多い生活が子どもたちの心に大きな影響を与えていることを改めて認識した。現実的な改善策を早急に見出すことが必要と考えます。

自分の考えをしっかりと持っている子どもたちがいることに感心しました。

一方、病気を抱えている子ども、高齢者、祖父母を心配して最大限の予防に努めている子どもたちも少なくありません。命を守ることに、その上でできる限りの教育環境を守っていきたい。

マスクは保健衛生上は大切であるということはわかっているが、教育上の妨げ議論がまったくされていないことに違和感を覚える。もっと教育上本当に必要かどうかを考えていくべきではないか。

現在の状況を見れば、感染者によって学校閉鎖、学級閉鎖をすることで、教育の時間を削られる方が問題だと思う。国の方針を示していただき、これまでの対応を見直す時期にきていると思う。

子どもは活発に活動し、友達と楽しく交流する中で望ましい成長をしていく。また各種行事の中止や小規模化は子どもの全体的発達(知、徳、体の調和のとれた発達)に影響を与えると思う。早く、のびのびと教師と児童生徒が顔の表情を確かめながら活動する教育の場になってほしい。

記述式設問⑧つづき（2）

最後にアンケート結果をご覧いただいたご感想があればお聞かせください。

子ども達の切実な声を拝見して、改めて現状を改善すべき時期にあると感じているなかな、国の通知を飛び越えて対策を講じることは難しいものの現場の意見を踏まえて考えていきたい

全国の子どもの声が聞けて参考になりました。ありがとうございました。

子ども達の元気な声や笑顔が学校や園に響く日常が少しでも早く戻ってくることを願っている。しそのような現場にしていって教育行政を行っていきたい

市長あてにも同様の質問状が届きましたが同じ回答となりますのでよろしくお願いたします。

国のほうで今回のアンケート結果を考慮した対策を持ち出していただけると幸いです。

・マスクを外したいか？と聞かれれば誰でも外したいと思うのが本音だと思う
・マスク着用が効果があるから薦めるのであるが、時、場、場面によって着脱を正しく判断できる力をつけることが大切（日本人は横並びが好きな人種だし、考えなしに周りに同調しやすい性質があると思う。いい面で働くこともあるが、もう少し自分で正しい判断を下せるように、小さい頃から教育していく必要があると思う。）

みんなマスクは取りたいと思う

マスクが常態化し、外せない子ども達が増えていくことへの心配がある

マスクをする習慣が長く続き、表情が読み取れず、人間関係づくりにも影響が出ていると思います。早く通常に戻ることを期待したいと思います。

①二年半も超える長期の異常事態は子どもの将来に大きな影響を及ぼす。万難を排して対策を講ずべき。
②そのためには、軽症者用治療に尽ける。ウィルス減少効果があるシオノギ薬の速やかな認可を。

新型コロナウイルス感染症の特性（感染しやすいなど）や感染予防の在り方を徹底すべき。
あなどってはいけない。

現在のマスク着用や黙食の徹底により、インフルエンザ等の他の感染症が制御されていることもあり、その効果は極めて大きいものであることから、今後においても引き続き取り組みの主旨を理解していただけるよう子どもたち、その家庭に呼び掛けていきたい。

新型コロナウイルス感染症による社会状況は日々変化していることから、引き続き状況を見極めながら、感染症対策と子どもたちの健やかな学びの保障の両立を目指して適切に対応していく必要があると感じた。

新型コロナウイルス感染症対策につきましては、これまで、国が作成した「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～『学校の新しい生活様式』～」に基づき対応しており、児童生徒等のマスクの着用については、熱中症リスクが高くなる夏季におけるマスクの着用の考え方が示され、この中で、体育の授業、運動部活動の活動中、登下校時の場面では、熱中症対策を優先し、マスクを外すよう指導することとされており、現在、学校において丁寧に指導に当たっているところです。

群馬県教育委員会では、児童生徒の心と体の健康に十分に配慮や注意をしながら、上記方針に基づき感染症対策を講じてまいります。今回いただいたアンケートにつきましては、今後の参考とさせていただきます。

大人が考え行なっていることで、子ども達が犠牲者になるようなことがあってはならないと改めて認識する機会になりました。ありがとうございました。

アンケート対象者には回答学年などに偏りを感じるが、我々は全ての子どもが安心安全できる教育環境を目指す立場にあるので、様々な立場・意見の存在を改めて認識できました

新型コロナは感染時だけでなく、後遺症の課題もインフルエンザより深刻である。甘くみることは児童・生徒の安全性を脅かす。一方で、子どもたちの心の動きにより配慮した人員体制でのぞむ必要がある。

教育・保育現場では、感染防止という安心、安全の保障と、子どもたちの成長を保証するという両面で行っていくことを求められています。マスクが感染を防止していることも事実です。また、猛暑の中での着用は熱中症のリスクがあります。外では保育士が率先してマスクを外すなどし、子どもたちにも着用は求めています。

子ども達の中には、マスク着用で戸惑いや不安を持ち苦しみながら学校生活を送っている者がいることが伝わってきます。感染拡大防止を前提にしつつ、できるだけコロナ禍以前と同等、もしくはそれ以上の学校生活を送ることができるよう配慮することが大切であると考えます

記述式設問⑧つづき (3)

最後にアンケート結果をご覧いただいたご感想があればお聞かせください。

学校現場においては、児童生徒の特性によりマスクを付けられない場合や、各家庭の環境により、マスクをはずせないなど状況は様々です。

教育委員会としましては、感染予防には時点時点での根拠や裏付のある対策を講じることが重要であり、感染症対策とのバランスを図りながら、ウィズコロナに向けた取り組みを進めていかなければならないと考えているところであり、国や県の通知や運用なども踏まえ、対応してまいります。

基本的な感染防止対策として、マスクの着用は重要だと考えておりますため、一部のみ回答させていただきます。

子どもたちはさまざまな制限を受け、たくさんの方のことを我慢しながら生活している。コロナの感染対策をしながらも、子どもたちのストレス軽減に向けた対応を少しでも行なっていきたい

マスク着用については子ども同様大人にとってもストレスを感じ、少なからず影響が出ていると感じます。

子どもはコロナで重症化する可能性は低いですが、家庭へ持ち帰り大人に感染させることを考えると、一定の国の指針等がなければ、マスクの着用を解除することは難しいと思います。

アンケート調査を行えば、必然的にこのような結果になると思う。

教育委員会が最重要視しているのは、子どもたちの命、安心安全である。少しでも子どもたちに健康被害の可能性があるのであれば、マスクの着用をお願いしたり、教育活動や行動に制限をかけたりしなければならない。

その上で、同調圧力やいじめの問題について学校と共に取り組まなければならないと考えている。

新しい生活様式においても、様々な課題に柔軟に対応しながら、学力をはじめとする生きる力の育成について、子ども・保護者・学校が前向きに建設的に取り組む必要があることを再認識できた。

新しい生活様式においても、様々な課題に柔軟に対応しながら、学力をはじめとする生きる力の育成について、子ども・保護者・学校が前向きに建設的に取り組む必要があることを再認識できた。

新型コロナウイルス感染症に係るマスク着用を含む諸対応については、今後も引き続き国や県の動向を踏まえ適切かつ迅速に対応し、各学校へ通達していきたいと思っております。

学習指導要領が改正され、小学校は3年目、中学校は2年目。主体的・対話的で深い学びを目指して先生方は授業づくりについてもご難儀をかけている。更にコロナ対策での感染予防など、通常でない状況の中で先生方も頑張っています。

児童生徒がこれから大人になるための生きる力を学校・家庭・地域が丸となって児童生徒に関わっていくことが大切だと感じます。

当村でも保護者のマスク着脱に対する考え方の違いから保護者間で激しい論争が起こっており、マスク着脱両方の同調圧力により間に立たされた保護者が脅威を感じたり困惑している現状があります。子供の心理や人間関係にも影響を与えかねないことから周囲の大人による過度な論争は控えるべきと考えます。

コロナ感染症についてはマスク着脱の件を含め現在国において対応が検討されており、市町村等もそれに準じた対応を取っていくべきであると考えます。

マスク着脱による健康上のリスクがある子供についてはしっかりと配慮し、一般的には感染の状況を説明し理解してもらいながら、子供の自主性を尊重した対応をするべきだと考えます。

当村の学校（行政）としては過去に小学校でクラスターが発生し家族を経由して福祉施設へも波及しかけた経緯があり、感染防止対策とのバランスを取りながら国の指針に従い推奨にとどめた指導をしています。

「マスクをはずしたい」とか「もっと活動したい」など、子ども達の思いもよく理解できるが、公立学校であるので自治体独自に判断して取り組むことが制約される場合があると思っております。

感染対策をとりながら国の指針に従っていこうと思っております

（教育委員会教育長）

子どもたちの思いに十分に寄り添いながら保育を進めることの大事さを改めて感じた

- ・早くコロナが収束し普通の生活ができる世の中になることを望みます。
- ・子供たちが元気で生活できるよう、教育環境の向上に取り組んでいきたい。

子どもたちの声に真摯に向き合うことは大切だと思いました。

子どもの学習、あそぶ権利の確立への対応をすべきと考える

子どものマスク着用や黙食などの制限解除の有効性と感染症の現状のリスクを専門家が判断して公式に説明する必要性がある、と感じる。また、メンタルの部分も判断基準として考慮する必要性を痛感。

子どもの声（アンケート結果）から、子どもたちはマスクのない普通の生活や友達と楽しく学校や園生活を送りたいと願っていることがわかります。マスクの着用で人の表情が読み取りにくく、密を回避するという国全体の方針の中、子どもたちにとって、直接体験する機会や豊かな人間関係を構築する場が減っています。我々大人は子どもの命を守りながら、少しでも早く子どもの豊かな生活を取り戻す努力をしていかなければならないという思いを強くしました。貴重な資料をご提供いただき、ありがとうございました。

記述式設問⑧つづき（４）

最後にアンケート結果をご覧いただいたご感想があればお聞かせください。

今後も、児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、国や県の動向を踏まえ、児童生徒及び教職員の健康等に留意しながら、教育活動を継続してまいります。

子供たち一人一人の感じ方を丁寧に受け止めることが大切であると思いました。

・アンケート結果について、アンケート対象者の抽出方法が不明であり、回答データ注釈には「一人の回答者が複数の子どもの声を聞いたものが含まれる」とあることから、集計の正確性が不明確なため、子ども達の意見による回答は出来かねます。

・市教育委員会及び学校では、児童生徒一人ひとりの健康を守り、そして安心して学校生活を送っていただくために、国・県からの通知・保健所や学校医等の意見を基に総合的に判断してコロナ対策を実施しております。

今度も国・県の動向を注視し、また頂きましたご意見も参考にしながら対応の見直しを検討して参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

学校の教育環境に関わる部分については教育委員会所管のため、市長部局として回答していませんが、教育委員会と情報を共有し、コロナ対策の連携を図っています。

アンケート結果に関わらず、保護者や関係団体、市民からの市政への意見等も参考にし、子ども達の安全な居場所確保のため、保育園等で必要なコロナ対策を実施し、状況の変化に対応するよう取り組んでいます。引き続き、国や県の動向やコロナの感染状況を注視し、必要な対策を実施してまいります。今回のアンケート結果についても子ども達のご意見として参考とさせていただきます。

新型コロナは初期に比べ重症化率も減少しているが、子どもを介して、高リスクの方に感染させるケースも踏まえバランスの取れた議論を国で進めてほしい。

有効なワクチン接種の活用により、新型コロナウイルスを一刻も早く終息させ、一日でもはやく健康で安全な生活を取り戻したい。

「各都道府県知事様・各市区町村長様への公開質問状」

以下、保護者からの質問を集約しました。ご回答いただけましたら大変有難く存じます。

自治体名とご回答日を教えてください。(ご回答部署名があれば記入をお願い致します)

自治体名(及び部署名): _____ 回答日: ____月 ____日

① 子ども達の声聞き、どのようにお感じになりましたか？(複数回答可)

- 深刻な事態であると感じる
- 深刻な事態とまでは言えない
- 子どもの声の吸い上げを強化する必要があると感じる
- 何らかの対策を取りたいと考えているものの感染症対策とのバランスに苦慮している
- その他(_____)

② 学校園における子どもへの教育環境はコロナ前と比べ、コロナの影響によって変化はありますか？

- 教育の充実度や質は低下している
- 教育の充実度や質は変わらず維持できている
- 教育の充実度や質は高めることができている
- その他(_____)

③ 2年半に及ぶコロナの影響で子ども達にどのようなことが懸念されると思いますか？(複数回答可)

- マスク着用による影響で活発な運動ができず、体力的な成長への影響に懸念がある
- マスク着用で表情が見えないため、情緒の発育やコミュニケーション力の成長に懸念がある
- 教育委員会から通知後も体育や登下校でもマスクを外せない子どもが多く、熱中症に懸念がある
- マスクを外してもいい場でも外せない同調圧力の強さやいじめの発生に懸念がある
- マスク着用や黙食などの厳しい制限、コロナに対する恐怖心による心的ストレスから不登校やうつになる子どもが増加する懸念がある
- 対策を講じており、懸念されることはほとんどない
- その他(_____)

④ 大人は会食制限が解除されても、学校給食の黙食は継続されていますが、いつ頃の解除が適切と考えますか？(複数回答可)

- コロナ陽性者数が季節性インフルエンザ並みまたはそれ以下になってから
- コロナ重症者数(重症化率)が季節性インフルエンザ並みまたはそれ以下になってから
- 現在解除を検討している
- 既に解除した
- 国からの通知が出なければ解除はできない
- その他(_____)

(裏面に続きます)

⑤ 学校及び教室におけるマスク着用についてお考えをお聞かせください。

- コロナがインフルエンザ並みまたは以下になるまでは着用すべき
- コロナが完全に終息するまでは着用すべき
- 教育及び成長への影響を考慮し、就学前児への国からの基準と同様に、就学児にも同基準（他者との距離に関わらずマスク着用を一律には求めない）を適用し、着用非着用を自由化すべき
- 子どもはコロナで重症化していないので、早急にマスク着用の解除をするべき
- その他（ ）

⑥ 感染症法上の取扱いについて、お考えをお聞かせください。

- 陽性者数が減少するまでは2類相当を維持する方がよいと感じている
- 重症化率が低下してきたので2類相当（新型インフルエンザ等感染症）から5類相当に下げてもよいと感じている
- 重症化率が季節性インフルエンザ以下に低下しているので、2類も5類も必要なく、感染症法上の位置付けから解除してもよいと感じている
- その他（ ）

⑦ コロナ禍において、子ども達への教育環境の充実や質を落とさないために実施している対策があれば教えてください。

⑧ 最後にアンケート結果をご覧いただいたご感想があればお聞かせください。

お忙しい中、最後までご回答いただき、誠にありがとうございました。いただいたご回答は、子ども達のより良い成長のために役に立つよう活用させていただきます。

「みんなで楽しく食べる給食」

「マスクをせずに受ける授業」

「おもいっきり走り回る運動場」

「笑顔いっぱい遊ぶ公園」

「友達と参加したいろんな行事」



子ども達が元気に成長できる環境を守りたい。

令和4年9月1日発行

発行・編集：全国有志子どもを思う会・こどもえがおプラットフォーム